

患者の有意義な生活と健康を促進できるアイケアの開発に関する研究

看護学科（看護学）

三沢 萌伽

• 連絡先 TEL：054-202-2919
E-Mail：m.misawa@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

アイケア, 集中治療室



集中治療室に入室した患者は、もともと眼疾患がないにも関わらず、眼表面の乾燥や変性、潰瘍形成、感染といった2次的障害を来すことがあります。これらが重症化すると、視力低下だけではなく、睡眠異常、主観的幸福度の低下、抑うつ症状の併発なども招き、病状回復後の生活や健康そのものへの弊害となります。眼表面障害の予防としてアイケア（眼のケア）が必須ですが、エビデンスに基づいたアイケアの確立はされていない現状です。そのため、エビデンスのあるアイケアの確立に向けて日々研究をしています。一日でも早くアイケアの確立および普及をさせて、集中治療を受けた患者が心身ともに健康な姿でその人らしい生活を送ることができるようにしたいです。

アピールポイント

眼球保護ができるツール（睑の代替となるもの）を開発したいです。湿润環境の維持ができ、酸素透過性が高く、緑膿菌などの細菌の侵入を防ぐことができる素材を探しています。ナタデココやハイドロジェルに詳しい方を探しています。